

図化名人 GE2 版 標定解析アプリケーションの不具合について

これまで図化名人専用サイトにて公開しておりました図化名人 GE2 版の標定解析アプリケーションにおいて、下記 2 点の不具合が判明いたしました。

1.内容

①新バンドル調整計算モジュールに関する不具合

図化名人 GE2 に搭載している新旧 2 つのバンドル調整計算モジュールのうち、「新バンドル調整計算モジュール」を用いて、「レンズ歪みが含まれる画像」を登録したプロジェクトでバンドル調整計算を実施すると、レンズ歪みの値が計算過程で正しく反映されず、結果が収束しない、又は所定の精度が得られない等の不具合が発生する場合がございます。

※ 旧バンドル調整計算モジュールを使用した場合は、本不具合の影響はございません。

※ レンズ歪みが含まれない画像を使用した場合は、本不具合の影響はございません。

②交会残差の合否判定に関する不具合

バンドル調整計算の結果の合否判定の基準値を設定する「精度基準管理表」画面において、「対象:」を「デジタル航空カメラ」に指定した場合、バンドル標定の基準点の残差に関わる設定値である「地上画素寸法」の値が、バンドル標定の交会残差（パスポイント・タイポイント）の合否判定に誤って使用され、正しく合否判定が行われません。

※ 「地上画素寸法」ではなく、カメラ設定の「CCD 素子間隔」の値を判定に用いるのが、仕様上の正しい動作となります。

2.対象製品

リリース（2014 年）以降から 2022 年 9 月 21 日まで図化名人 HP 上で公開されたインストーラに含まれる図化名人 GE2 版の標定解析アプリケーション

※ 図化名人 GE 版及び図化名人 SA 版、SA2 版には、本不具合の影響はございません。

3.今後の処置について

上記の①②はいずれも不具合原因を特定しておりますが、①につきましては十分な動作検証を行って後、改めて改修版のインストーラを公開いたします。2022 年 9 月 22 日にリリースをいたしました図化名人 GE2 版インストーラ（Ver5.2.88）では、下記の処置を行っております。

① 暫定処置として新バンドル調整計算モジュールに機能制限を掛けております。当該バージョンでは、旧バンドル調整計算モジュールのみをご利用いただけます。

② 本不具合は修正済みです。

以上